



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大光銀行  
コード番号 8537 URL <http://www.taikobank.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 古出 哲彦  
(氏名) 長野 勉

TEL 0258-36-4111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,776	△11.1	95	△93.2	89	△89.3
23年3月期第1四半期	6,501	2.2	1,420	107.8	844	95.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 959百万円 (124.7%) 23年3月期第1四半期 426百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	0.90	ー
23年3月期第1四半期	8.47	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,312,606	61,900	4.6
23年3月期	1,301,070	61,241	4.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 61,638百万円 23年3月期 60,981百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計ー期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	ー	2.50	ー	3.00	5.50
24年3月期	ー				
24年3月期(予想)		2.50	ー	2.50	5.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,020	△4.1	1,250	△41.9	760	△32.5	7.62
通期	23,220	△5.3	2,330	△26.5	1,440	△19.1	14.45

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	100,014,000 株	23年3月期	100,014,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	390,135 株	23年3月期	389,935 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	99,624,014 株	23年3月期1Q	99,630,167 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算短信発表時に公表いたしました連結及び個別業績予想の数値を第2四半期(累計)、通期ともに修正いたしました。なお、業績予想数値の修正に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しています。

(参考) 個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	11,870	△4.0	1,220	△42.7	750	△32.2	7	52
通期	22,920	△5.2	2,300	△26.8	1,410	△19.2	14	15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 2
3. 四半期連結財務諸表等 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 4
四半期連結損益計算書 .....	P. 4
四半期連結包括利益計算書 .....	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 6
(4) セグメント情報等 .....	P. 6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 6
4. 補足情報 .....	P. 7
平成24年3月期第1四半期決算説明資料 .....	P. 7
(1) 損益状況(単体) .....	P. 7
(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 .....	P. 8
(3) 自己資本比率(国内基準) .....	P. 9
(4) 時価のある有価証券の評価差額(連結) .....	P. 10
〃                        (単体) .....	P. 11
(5) 預金、貸出金の残高(単体) .....	P. 12
(6) 預り資産(末残)の状況(単体) .....	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済を顧みますと、東日本大震災の影響により生産活動が低下し、個人消費に弱い動きがみられるなど、依然として厳しい状況が続いておりましたが、生産体制の復旧などに伴い上向きの動きがみられ始めました。

当行グループの主たる営業基盤である新潟県の経済につきましては、国内景気と同様、東日本大震災の影響により生産活動の低下や消費者心理の慎重化が広範にみられ、景気を下押しする状態が続いておりましたが、生産が震災前の水準に概ね回復し消費者心理にも改善がみられるなど、景気下押し圧力は緩和されてきております。

このような経済状況のもとで、当行グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常利益は、物件費を中心に経費削減に努めたものの、業務粗利益の減少のほか、与信関係費用の増加や株式等関係損益（損失）の増加などにより前年同四半期比13億25百万円減少の95百万円となりました。

四半期純利益については、法人税等調整額を含めた税金費用が減少しましたが、経常利益の減少などから前年同四半期比7億55百万円減少の89百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産1兆3,126億6百万円（前年度末比115億36百万円増加）、純資産は619億円（前年度末比6億59百万円増加）となりました。主要科目につきましては、貸出金8,607億41百万円（前年度末比44億11百万円減少）、有価証券3,638億56百万円（前年度末比184億36百万円増加）、預金1兆2,196億72百万円（前年度末比155億54百万円増加）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結の業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の業績予想に対し、第2四半期累計期間では、経常収益は、その他業務収益の増加見込みなどから4億円増収の120億20百万円を見込んでいます。経常利益は、与信関係費用の増加見込みなどから4億70百万円減益の12億50百万円を見込んでいます。中間純利益は、税金費用の減少が見込まれますが、上記の減益要因があることなどから2億30百万円減益の7億60百万円を見込んでいます。

また、通期では、上記の要因から経常収益は3億80百万円増収の232億20百万円、経常利益は5億円減益の23億30百万円、当期純利益は2億30百万円減益の14億40百万円を見込んでいます。

単体の業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の業績予想に対し、第2四半期累計期間では、経常収益は、その他業務収益の増加見込みなどから4億10百万円増収の118億70百万円を見込んでいます。経常利益は、与信関係費用の増加見込みなどから4億60百万円減益の12億20百万円を見込んでいます。中間純利益は、税金費用の減少が見込まれますが、上記の減益要因があることなどから2億30百万円減益の7億50百万円を見込んでいます。

また、通期では、上記の要因から経常収益は4億10百万円増収の229億20百万円、経常利益は4億60百万円減益の23億円、当期純利益は2億30百万円減益の14億10百万円を見込んでいます。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	33,138	27,238
コールローン及び買入手形	20,000	30,000
商品有価証券	121	130
金銭の信託	2,965	3,010
有価証券	345,420	363,856
貸出金	865,152	860,741
外国為替	3,960	3,832
その他資産	17,200	11,458
有形固定資産	14,366	14,280
無形固定資産	713	680
繰延税金資産	5,401	4,983
支払承諾見返	2,469	2,709
貸倒引当金	△9,841	△10,314
<b>資産の部合計</b>	<b>1,301,070</b>	<b>1,312,606</b>
<b>負債の部</b>		
預金	1,204,118	1,219,672
譲渡性預金	6,025	—
コールマネー及び売渡手形	748	726
借入金	4,300	6,140
外国為替	0	—
社債	8,000	8,000
その他負債	4,940	4,662
賞与引当金	731	418
役員賞与引当金	32	8
退職給付引当金	5,187	5,141
役員退職慰労引当金	176	150
睡眠預金払戻損失引当金	209	209
偶発損失引当金	446	424
利息返還損失引当金	31	31
再評価に係る繰延税金負債	2,411	2,411
支払承諾	2,469	2,709
<b>負債の部合計</b>	<b>1,239,828</b>	<b>1,250,705</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,208	8,208
利益剰余金	38,886	38,677
自己株式	△125	△125
<b>株主資本合計</b>	<b>56,970</b>	<b>56,761</b>
その他有価証券評価差額金	1,853	2,719
土地再評価差額金	2,158	2,157
その他の包括利益累計額合計	4,011	4,877
少数株主持分	259	262
<b>純資産の部合計</b>	<b>61,241</b>	<b>61,900</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,301,070</b>	<b>1,312,606</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
経常収益	6,501	5,776
資金運用収益	5,338	5,085
(うち貸出金利息)	4,288	4,130
(うち有価証券利息配当金)	1,024	925
役務取引等収益	578	510
その他業務収益	545	115
その他経常収益	39	64
経常費用	5,080	5,681
資金調達費用	483	288
(うち預金利息)	421	227
役務取引等費用	368	379
その他業務費用	0	0
営業経費	3,718	3,537
その他経常費用	509	1,475
経常利益	1,420	95
特別利益	43	0
固定資産処分益	—	0
償却債権取立益	43	
特別損失	99	1
固定資産処分損	4	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	95	
税金等調整前四半期純利益	1,365	94
法人税、住民税及び事業税	18	187
法人税等調整額	498	△186
法人税等合計	517	0
少数株主損益調整前四半期純利益	847	93
少数株主利益	2	3
四半期純利益	844	89

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	847	93
その他の包括利益	△420	866
その他有価証券評価差額金	△420	866
四半期包括利益	426	959
親会社株主に係る四半期包括利益	423	955
少数株主に係る四半期包括利益	2	3



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

当行グループは、報告セグメントが銀行業のみであり、当行グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」にはクレジットカード業務等が含まれております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

平成24年3月期 第1四半期決算説明資料

(1) 損益状況(単体)

●業務粗利益は、預貸差利益は増加しましたが、有価証券利回りの低下により資金利益が減少したことに加え、役務取引等利益の減少や国債等債券損益が減少したことによるその他業務利益の減少などにより前年同四半期比5億57百万円減少し49億90百万円となりました。
●業務純益については、物件費を中心に経費削減に努めたものの、業務粗利益の減少などから前年同四半期比2億61百万円減少の16億72百万円となりました。
●また、経常利益については、不良債権処理額の増加や株式等関係損益(損失)の増加などにより前年同四半期比13億4百万円減少し87百万円となりました。
●四半期純利益は、法人税等調整額を含めた税金費用が減少しましたが、経常利益の減少などから前年同四半期比7億41百万円減少の84百万円となりました。

(単位:百万円)

	平成24年3月期 第1四半期 (A)	平成23年3月期 第1四半期 (B)	増減 (A) - (B)	(参考) 平成24年3月期 第2四半期 累計期間予想
業務粗利益 (コア業務粗利益)	4,990 (4,899)	5,547 (5,026)	△557 (△127)	
資金利益	4,781	4,833	△52	
役務取引等利益	110	187	△77	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	97 (90)	527 (521)	△430 (△431)	
経費(除く臨時処理分)	3,392	3,550	△158	
人件費	1,926	1,961	△35	
物件費	1,325	1,441	△116	
税金	140	147	△7	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,597	1,997	△400	
(コア業務純益)	(1,507)	(1,475)	(32)	
一般貸倒引当金繰入額①	△74	63	△137	
業務純益	1,672	1,933	△261	3,150
臨時損益	△1,584	△541	△1,043	
うち不良債権処理額②	1,180	305	875	
うち償却債権取立益	42	-	42	
うち株式等関係損益	△314	△88	△226	
経常利益	87	1,391	△1,304	1,220
特別損益	△0	△55	55	
うち償却債権取立益	-	43	△43	
税引前四半期純利益	86	1,335	△1,249	
法人税、住民税及び事業税	187	6	181	
法人税等調整額	△185	503	△688	
法人税等合計	2	509	△507	
四半期純利益	84	825	△741	750

(参考)

与信関係費用(①+②)	1,106	368	738
-------------	-------	-----	-----

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 増減欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。  
 3. 平成24年3月期第2四半期累計期間予想は、平成23年5月13日に公表した数値を修正いたしました。  
 4. コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券損益  
 5. コア業務純益=業務純益-国債等債券損益+一般貸倒引当金繰入額

(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

- 金融再生法ベースの不良債権額は、前年同四半期末に比べ、連結ベースでは41億円増加し398億円、単体ベースでは42億円増加し396億円となりました。
- また、不良債権比率は、前年同四半期末に比べ、連結ベースでは0.37ポイント上昇し4.58%、単体ベースでは0.38ポイント上昇し4.56%となりました。

【連結】

(参考) (単位:億円)

	平成23年6月末	平成22年6月末	平成23年3月末 (実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	95	98	81
危険債権	276	231	275
要管理債権	27	26	19
小計 (A)	398	357	375
正常債権	8,305	8,148	8,369
合計 (B)	8,704	8,506	8,744
不良債権比率 (A) / (B)	4.58%	4.21%	4.30%

【単体】

(参考) (単位:億円)

	平成23年6月末	平成22年6月末	平成23年3月末 (実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	92	96	79
危険債権	276	231	275
要管理債権	27	26	19
小計 (A)	396	354	373
正常債権	8,299	8,143	8,363
合計 (B)	8,696	8,498	8,736
不良債権比率 (A) / (B)	4.56%	4.18%	4.28%

(3) 自己資本比率(国内基準)

●平成23年6月末の自己資本比率[速報値]は、連結・単体ともに平成23年3月末比0.13ポイント上昇し、11.99%となりました。

【連結】

(単位：億円)

	平成23年6月末 [速報値]	平成23年3月末	
		平成23年3月末比	
(1) 自己資本比率	11.99%	0.13%	11.86%
うち基本的項目比率(Tier I比率)	9.38%	0.12%	9.26%
(2) 基本的項目の額(Tier I)	567	1	566
(3) 補完的項目の額(Tier II)	158	△0	158
(4) 控除項目	—	—	—
(5) 自己資本の額(2) + (3) - (4)	725	0	725
(6) リスク・アセット	6,050	△63	6,113
(7) 総所要自己資本額(6) × 4%	242	△2	244

【単体】

(単位：億円)

	平成23年6月末 [速報値]	平成23年3月末	
		平成23年3月末比	
(1) 自己資本比率	11.99%	0.13%	11.86%
うち基本的項目比率(Tier I比率)	9.37%	0.11%	9.26%
(2) 基本的項目の額(Tier I)	565	1	564
(3) 補完的項目の額(Tier II)	158	△0	158
(4) 控除項目	—	—	—
(5) 自己資本の額(2) + (3) - (4)	723	0	723
(6) リスク・アセット	6,034	△63	6,097
(7) 総所要自己資本額(6) × 4%	241	△2	243

(4) 時価のある有価証券の評価差額

●時価のある其他有価証券の評価差額は、連結・単体ともに平成23年3月末比15億円増加し、43億円の評価益となりました。

【連結】

(参考) (単位：億円)

	平成23年6月末				平成22年6月末				平成23年3月末 (実績)			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	3,444	43	68	24	3,427	54	89	35	3,260	28	56	27
株式	38	9	10	1	39	6	8	2	39	8	11	3
債券	2,956	47	48	1	2,916	71	72	0	2,755	31	34	2
その他	448	△13	8	22	471	△24	8	33	465	△11	10	21

(注) 1. 「評価差額」及び「含み損益」は帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

変動利付国債の時価については、平成20年度上半期の金融市場の混乱により市場価格が理論価格と大幅に乖離があったことから時価とみなせない状態にあると判断し、平成20年度中間連結会計期間末からは従来の市場価格に替え、合理的に算定された価額をもって四半期連結貸借対照表計上額としておりましたが、市場価格と理論価格が乖離した状態が1年以上継続していること及びその乖離が縮小傾向にあるため、市場価格を時価とみなすことが相当と判断し、平成22年度中間連結会計期間末から市場価格をもって四半期連結貸借対照表計上額としております。

これにより、当第1四半期連結会計期間末において、合理的に算定された価額をもって四半期連結貸借対照表計上額とした場合に比べ、有価証券は1,786百万円、その他有価証券評価差額金は1,064百万円それぞれ減少し、繰延税金資産は721百万円増加しております。

2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。

(参考) (単位：億円)

	平成23年6月末				平成22年6月末				平成23年3月末 (実績)			
	帳簿 価格	含み損益			帳簿 価格	含み損益			帳簿 価格	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の 債券	185	△12	0	12	159	△15	—	15	184	△15	0	15

【単体】

(参考) (単位:億円)

	平成23年6月末				平成22年6月末				平成23年3月末 (実績)			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	3,444	43	68	24	3,427	54	89	35	3,260	28	56	27
株式	38	9	10	1	39	6	8	2	39	8	11	3
債券	2,956	47	48	1	2,916	71	72	0	2,755	31	34	2
その他	448	△13	8	22	471	△24	8	33	465	△11	10	21

(注) 1. 「評価差額」及び「含み損益」は帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

変動利付国債の時価については、平成20年度上半期の金融市場の混乱により市場価格が理論価格と大幅に乖離があったことから時価とみなせない状態であると判断し、平成20年度中間会計期間末からは従来の市場価格に替え、合理的に算定された価額をもって四半期貸借対照表計上額としておりましたが、市場価格と理論価格が乖離した状態が1年以上継続していること及びその乖離が縮小傾向にあるため、市場価格を時価とみなすことが相当と判断し、平成22年度中間会計期間末から市場価格をもって四半期貸借対照表計上額としております。

これにより、当第1四半期会計期間末において、合理的に算定された価額をもって四半期貸借対照表計上額とした場合に比べ、有価証券は1,786百万円、その他有価証券評価差額金は1,064百万円それぞれ減少し、繰延税金資産は721百万円増加しております。

2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。

(参考) (単位:億円)

	平成23年6月末				平成22年6月末				平成23年3月末 (実績)			
	帳簿 価格	含み損益			帳簿 価格	含み損益			帳簿 価格	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の 債券	185	△12	0	12	159	△15	-	15	184	△15	0	15

(5) 預金、貸出金の残高(単体)

- 預金の残高は、前年同四半期末比202億円増加し、1兆2,197億円となりました。
- 貸出金の残高は、前年同四半期末比214億円増加し、8,608億円となりました。

(参考) (単位:億円)

	平成23年6月末	平成22年6月末	平成23年3月末 (実績)
預 金 ( 末 残 )	12,197	11,995	12,041
うち 県 内 預 金	10,959	10,762	10,789
うち 個 人 預 金	9,140	9,012	9,069
貸 出 金 ( 末 残 )	8,608	8,394	8,652
うち 県 内 貸 出 金	6,839	6,753	6,874
うち 個 人 ロ ー ン	2,526	2,562	2,539

(注) 預金(末残)には譲渡性預金が含まれておりません。

(6) 預り資産(末残)の状況(単体)

- 預り資産の残高は、前年同四半期末比35億円増加し、1,193億円となりました。保険が13億円増加したほか、投資信託も11億円増加しました。

(参考) (単位:億円)

	平成23年6月末	平成22年6月末	平成23年3月末 (実績)
預 り 資 産	1,193	1,158	1,194
投 資 信 託	386	375	391
公 共 債	547	537	546
保 険	234	221	230
外 貨 預 金	24	24	25

以 上